序章　日中貿易摩擦研究の意義および視座 …… 1
第1節　問題の所在と研究の目的　1
第2節　本書の分析視座　11
第3節　本書の構成　15

第1部　個別産業における通商交渉

第1章　ネギなど農産品3品目に対する暫定的セーフガード
── 事例研究① …… 19
第1節　セーフガード発動の背景　19
第2節　セーフガード発動の経緯および限界　23
第3節　民間団体主導の官民協議が成功モデルになるのか　32
補　論　構造調整という条件への留保の必要性　40
第2章　アメリカ・EU・中国の鉄鋼セーフガード措置
── 事例研究② …… 43
第1節　分析枠組　43
第2節　鉄鋼業・鉄鋼貿易　46
第3節　中国鉄鋼SG発動の原因　54
第4節　WTO紛争処理メカニズムと民間団体の役割　59

第2部　包括的な経済交渉

第3章　人民元切り上げ問題 ── 事例研究③ …… 71
第1節　問題の所在と分析の目的・方法　71
第2節　日米と中国の対立　73
第3節　対立から中国の金融制度改革支援へ　88
第4節　国際合意の要因　92

第4章　日中FTA戦略の比較 ── 事例研究④……95
第1節　FTAの政治的含意　95
第2節　東アジア地域統合の試み　98
第3節　中国とASEANのFTA　102
第4節　日本とASEANのFTA　106
第5節　日中FTA締結の課題　111
第5章　日米貿易摩擦の教訓および日中貿易摩擦の概観…113
第1節　日米貿易摩擦の経験と教訓　113
第2節　日中貿易摩擦の概観　123

終章　今後の展望および課題……143
第1節　政策過程分析のまとめ　143
第2節　日中貿易摩擦の今後の展望　145
第3節　安定的な貿易成長を促進するための政策提言　147

参考文献　157
資　料　164
あとがき　191
索　引　195